

関経連 NOW 希望と夢にあふれた 強い関西の復権をめざして

関経連は第57回定時総会を2019年5月27日に開催。

役員の選任等に加え、2019年度の事業計画や予算の報告を行った。

ここでは関経連会長として2期目を迎えた松本会長へのインタビューとともに、今年度の事業計画および2019～2020年度の事業推進体制について紹介する。



本庶 佑 京都大学高等研究院副院長・特別教授による記念講演



ワールドマスターズゲームズ2021関西
1000日前記念イベント (2018年8月)



関経連欧州経済調査団 (2018年11月)



2025年大阪・関西万博開催決定の瞬間
(2018年11月)

関経連 NOW 「ONE関西」で希望と夢に あふれた強い関西の復権を

関経連会長として2期目を迎えた松本会長。
これまでの2年間の活動を振り返って思うこと、
そして今後の活動への抱負などを語っていただいた。

会長インタビュー



松本 正義

関西経済連合会会長

—— 1期目を振り返っての感想をお願いします。

2017年5月に関経連の会長に就任してからの2年間、ひたすら走り回り、席の温まる暇もなかったというのが率直な感想です。特に印象深かったのは、なんといっても大阪・関西そして日本全体で官民一体となって誘致活動を行った2025年大阪・関西万博の開催を勝ち取ったことです。結果はもちろんのこと、“目的を共有して一つのことに取り組み、関西の一体感がさらに強まった”と私自身、肌で感じる事ができたことが大きな収穫でした。あらためて多大なるご支援に感謝いたします。

世界に目を転じますと、少なからぬ国においてポピュリズムが台頭したほか、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題による混乱など、目の離せない展開が続きました。また、日本では大きな災害が相次ぎ、関西も大阪府北部地震、台風21号などにより大きな被害を受けました。こうしたさまざまな波乱要素を含みながらも成長を続けてきた世界経済、そして日本経済ではありますが、ここへきて、中国経済の減速、米国による

対中関税引き上げなどを受け、変調を来しているのではないかと懸念を持ち始めております。

そのような状況のなか、会長就任時からの私の問題意識は、“相対的な地位の低下が続く関西経済をどのようにして浮上・成長させていくか、何を足掛かりに進めていくか”ということでした。そこで、事務局とも議論を重ね、2017年度に策定した「第3期中期計画(2018～20年度)」では、「Look West」「グローバルな視点での舞台としての関西」という視点のもと、柱となる5つの事業「グローバル／アジア」「文化／観光」「産業イノベーション」「スポーツ」「地方創生」と、ベースとなる2つの事業「インフラ」「ビジネス基盤」を打ち出し、昨年度より計画の実現に向けて具体的な活動を進めてきました。

振り返ってみると、ここまでやっていくことができたのは会員の皆さまのおかげだとつくづく思います。副会長をはじめ、各委員会の委員長・副委員長・委員の皆さま、スタッフ、そして多くの関係者に日々支えられていることを実感しています。

—— 2018年度の活動をどう評価しておられますか。

「今後の成長への基礎固めを着実に実行できた」ということでしょうか。2018年度は、第3期中期計画の初年度ということもあり、各事業についてしっかりと考え、具体的な取り組みに落とし込んでいきました。

「グローバル／アジア」については、「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」の設立に向けてアジア各国の経済団体と折衝し、参画の合意を得るとともに、双方の関心分野ごとにテーマ別部会を先行的に設置し、ビジネス創出に向けた具体的な活動を進めました。年度をまたぎましたが、本年4月には、桜が満開の大阪に各国代表を招いて全体会議を盛大に開催し、ABCプラットフォームを正式に設立するとともに、これからの具体的な取り組みについて意見交換も行いました。今後の展開に手ごたえを感じているところです。

「文化／観光」に関しては、関西観光本部と一体となり、関西広域の観光振興においてめざす姿や関係主体が一丸となって取り組む重点テーマを示した「関西ツーリズムグランドデザイン2021」を策定しました。

「産業イノベーション」分野では、健康・医療データの活用促進に向けて、企業の健康保険組合が持つ社員の健康診断のデータ等を活用した実証事業を行いました。また、中堅・中小企業等でのICT・IoT・AIなど先端技術の活用促進に向け、いろいろな企業の先進的・特長的な取り組みをまとめた事例集を作成・展開しました。

「スポーツ」については、「関西スポーツ振興ビジョン」を策定し、関西におけるスポーツ振興の方向性などを示すとともに、その実現に向けて関係者が一堂に会し、議論・検討・推進を行う会議体として、「関西スポーツ振興推進協議会」を設立しました。

「地方創生」については、膠着状態の地方分権の議論に一石を投じたいと、約10年ぶりに意見書を取りまとめ、全国・関西がめざす姿に加え、国への提案や関西広域連合の発展強化策を示しました。

「インフラ」に関しては、交通物流インフラの早期整備を働きかけました。さらに、関西3空港については、最適活用に向けて関係者と共に議論を始めました。

「ビジネス基盤」分野では、会員の皆さまの声をふまえ、税財政・独占禁止法などについて独自の視点に基づく政策を提言し、要望活動も積極的に行いました。

—— これまでの活動および中期計画をふまえ、2019年度の活動はどのように展開していくのでしょうか。

2019年度は、第3期中期計画の中間にあたる年であ

り、2018年度に築いた基礎の上に具体的な成果を積み重ねていかなければならないと思っています。5つの柱と2つの基盤(ベース)、それぞれの事業に全力で取り組んで行きますが、ここでは、私が特に力点を置いている2つの事業について述べたいと思います。

まずは「ABCプラットフォームの推進」です。これまで関経連が構築してきたアセアンとの太い絆のおかげで設立までこぎつけることができましたが、成果に結びつけていくためには本年度こそが正念場で、エネルギーをかけた取り組みが必要だと思っています。

また、「スポーツ振興ビジョンの具体化」についても、昨年公表したビジョンとそれを具体化すべく設立した協議会により、関係者との連携を強化して具体的な取り組みを進めていくのが本年度であると思っています。

これらをはじめ、関経連では将来起こり得る問題点を先取りする形で各事業を積極果断に実行していきたいと考えていますので、ぜひご協力をお願いします。

本年度はG20大阪サミットを皮切りに、ゴールデン・スポーツイヤーズの幕開けとなるラグビーワールドカップなど、発展の起爆剤となるイベントがめじろ押しです。2025年の大阪・関西万博も見据え、この好機を最大限に活用して、関西のアセットを強みとして顕在化させ、さらにその魅力を高めることで持続的な成長につなげていきたいとの思いを強くしています。

—— 2期目に対する抱負と、会員の皆さまへのメッセージをお願いします。

これまでも申し上げてきたことですが、「希望と夢にあふれた強い関西の復権」を掲げたいと思います。大きなイベントを通じて関西の一体感は高まってきた、チャンスもある、自らの力で発展する気概も持ち合わせている、となれば、あとは正しい打ち手を選択して実行あるのみです。もちろん、そこには多くの課題や乗り越えなければならない壁も存在するでしょう。しかしながら、それを前に手をこまねいては何も生み出すことはできません。

私は、関西の復権を心から願い、その実現を信じる者であります。将来を見据え、会員の皆さまとともに意見を出し合いながら、「ONE 関西」でさまざまな難事に誠心誠意を尽くしてあたりたいと思っています。

最後になりましたが、この2年間の皆さまのご協力に心から感謝申し上げますとともに、今後ますますのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第3期中期計画（2018～20年度）の中間にあたる2019年度は、柱となる5つの事業「グローバル／アジア」「文化／観光」「産業イノベーション」「スポーツ」「地方創生」と、ベースとなる2つの事業「インフラ」「ビジネス基盤」において、具体的な成果を生み出すべく積極的に活動を行っていく。

なかでも「ABCプラットフォームの推進」「ベンチャー・エコシステムの形成」「インバウンド拡大に向け

たさらなる取り組み」「スポーツ振興ビジョンの具体化」「地方分権改革推進に向けた働きかけ」および「災害対応力強化の推進」、また、ビジネス基盤としての経済財政、企業法制、環境・エネルギー、雇用労働といったテーマに取り組む。こうした事業を通じて大阪・関西万博の成功に向けて取り組むとともに、SDGs(持続可能な開発目標)の達成にも貢献していく。

2019年度事業計画概要



グローバル／アジア

(1) アジア各国と関西双方の経済発展に向けた取り組み

- ① 「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」の推進
- ② 各国政府・経済界との対話会・交流会などの開催、海外訪問団の派遣
- ③ 企業のグローバル化に資する人材の育成と関西での活躍機会の確保

(2) 国際情勢変化への対応

- ① 経済連携をはじめとする国際社会の情勢変化の把握と対応などに関する会員企業への情報発信



文化／観光

(3) インバウンド推進と魅力あるまちづくり・IR／MICEの誘致

- ① 「関西ツーリズムグランドデザイン2021」にもとづく取り組み
- ② IR／MICE誘致の推進と都市魅力の向上
- ③ 夢洲や新大阪をはじめとする魅力あるまちづくりに向けた働きかけ
- ④ 関西各地の歴史・文化などの魅力・はなやか関西を活用した関西ブランドの発信



産業イノベーション

(4) 産業クラスター形成に向けた取り組み

- ① 健康・医療データ利活用などによる「生き生き関西“健康・医療”先進地域ビジョン」の実現
- ② 航空機産業への新規参入・マッチング支援
- ③ 水素社会実現に向けた機運醸成や関連産業振興の可能性調査
- ④ AI・IoT／ロボットの活用による新サービス創出と生産性向上支援

(5) ベンチャーを生み出すエコシステムの形成とイノベーションを支える拠点づくり

- ① うめきた2期を含めた大阪・関西のベンチャー・エコシステム形成に向けた取り組み
- ② けいはんな学研都市のイノベーション拠点機能強化に向けた支援
- ③ 実効性あるイノベーション支援体制の構築・大学との連携強化による産業を支える仕組みの実現



スポーツ

(6) スポーツによる関西の活性化

- ① 関西スポーツ振興推進協議会を通じた関係機関との連携・取り組みの推進
- ② 関西におけるトップアスリートの育成に向けた産官学による仕組みの構築
- ③ ゴールデン・スポーツイヤーを契機とした生涯スポーツの振興に向けた官民一体による取り組み
- ④ スポーツ産業振興方策の検討
- ⑤ スポーツイベント招致に向けた検討



地方創生

(7) 地方分権・道州制の実現に向けた取り組み

- ① 地方分権改革の進展に向けた政府・各党への意見発信・働きかけ、国民的理解の促進
- ② 関西広域連合と各分野における共同事業の実施



インフラ

(8) 複眼型国土の形成と広域交通・物流ネットワークの整備・強化

- ① 複眼型スーパー・メガリージョンの実現に向けた構想具体化と提案の実施
- ② リニア中央新幹線の早期全線開業、北陸新幹線の大阪早期開業の推進
- ③ 関西の高速道路ミッシングリンク解消の推進
- ④ 関西経済活性化に資する関西圏空港のあり方の検討、関空の利用促進
- ⑤ 阪神港などの関西の国際物流の活性化
- ⑥ 国・地域・企業の災害対応力強化の促進(防災力・復元力の向上)



ビジネス基盤

(9) S+3Eのバランスが取れ、経済成長と両立するエネルギー・環境政策の推進

- ① 現実的なエネルギーミックスの構築や経済成長と両立する環境政策の実現に向けた国などへの働きかけ
- ② 次世代などへのエネルギーミックスの学習機会の提供

(10) 財政健全化と経済成長の両立に向けた中長期的な経済財政運営の実現

- ① 財政健全化と経済成長の両立実現に向けた国への働きかけ
- ② 関西経済の動向・実態の適切な把握と日銀・財務省、会員企業などへの情報発信

(11) 競争力・企業存立基盤の強化に資する法制度・会計制度などへの対応

- ① 中長期的な企業価値向上に向けたコーポレートガバナンスの推進
- ② 社会・経済環境の変化および企業の声を踏まえた競争政策実現に向けた国への働きかけ

(12) 多様な人材が柔軟な働き方で活躍できる雇用・労働環境の整備

- ① 中期的な雇用・労働環境の変化への対応に関する提言
- ② 「働く女性が最も活躍できる地域・関西」に向けた取り組みの推進
- ③ 働き方改革関連法など労働法改正への対応支援

【2025年大阪・関西万博】

- ・ 関経連の各事業を通じ、万博がめざす「SDGsが達成される社会」の実現に向け、関西の研究開発ポテンシャル・技術力・文化などを生かした未来への発信
- ・ 「2025年日本国際博覧会協会」の一員として開催計画の具体化に向けた検討や国内外における発信など開催に向けた準備

<Toward EXPO 2025 ～万博をめざして取り組む主なテーマ～>

イノベーション創出 | 健康・医療、環境・エネルギー、AI・IoT／ロボット、けいはんなの技術の活用
 関西の魅力向上・発信 | 観光、IR、夢洲などのまちづくり、文化
 基盤整備 | 鉄道、道路、空港、港湾

2019～2020年度の事業推進体制

役員改選期である今年度の定時総会・理事会では、会長、副会長の選定を行った。選定された13名の副会長は全員が再任。なお、これまで7期14年にわたり副会長を務められた寺田千代乃 アートコーポレーション社長は今総会をもって退任された。

委員会体制については、関西復権に向けた産業振興およびベンチャー・エコシステムの形成などをさらに強化するねらいから、科学技術・イノベーション委員会を「科学技術・産業振興委員会」「ベンチャー・エコシステム委員会」として再編、それぞれのテーマに則した活動を行う体制を整えた。

また、2025年大阪・関西万博を見据え、松本会長を委員長とする「万博特別委員会」を新設。委員には各副会長および科学技術・産業振興委員長、国土・広域基盤委員長、都市・観光・文化委員長、スポーツ振興委員長、国際委員長が就任し、委員会活動の横連携や関係機関との協力などを通じて、大阪・関西万博の成功をめざす(副会長が委員長を兼任している委員会もあるため、創設時点で委員は14名)。

事業計画の全文および2019年度各体制等については、
関経連ホームページに掲載しています。
URL: <http://www.kankeiren.or.jp>

●副会長

(2019年5月27日現在)

氏 名	担当委員会および担当
井上 礼之 (ダイキン工業会長)	企業法制委員会
松下 正幸 (パナソニック副会長)	国際委員会 万博推進担当
牧野 明次 (岩谷産業会長兼CEO)	スポーツ振興委員会 労働政策委員会 グローバル人材育成・活用委員会
大坪 清 (レンゴー会長兼社長)	国際委員会
柏原 康夫 (京都銀行取締役相談役)	科学技術・産業振興委員会 ベンチャー・エコシステム委員会
角 和夫 (阪急電鉄会長)	都市・観光・文化委員会 万博推進担当
佐藤 廣士 (神戸製鋼所顧問)	地球環境・エネルギー委員会 スポーツ振興委員会
八木 誠 (関西電力会長)	国土・広域基盤委員会 万博推進担当
木股 昌俊 (クボタ社長)	科学技術・産業振興委員会 ベンチャー・エコシステム委員会
園 潔 (三菱UFJ銀行会長)	経済財政委員会 スポーツ振興委員会
真鍋 精志 (西日本旅客鉄道会長)	地方分権・広域行政委員会
小林 哲也 (近鉄グループホールディングス会長)	企業法制委員会 国土・広域基盤委員会
村尾 和俊 (西日本電信電話相談役)	科学技術・産業振興委員会 国土・広域基盤委員会 都市・観光・文化委員会 万博推進担当

●委員会一覧

(☆印は新任、2019年5月27日現在)

委員会とその所管事項	委員長・担当委員長・専門委員長・副委員長(万博特別委員会については委員)
統括委員会 各委員会の重要事項の報告・調整等	委員長 松本 正義(関西経済連合会 会長)
経済財政委員会 財政健全化と経済成長の両立に向けた中長期的な経済財政運営の総合的検討・提言(税・財政)、経済情勢・景気動向の実態把握と経済・金融政策の検討	委員長 古市 健(日本生命保険 副会長) 副委員長 中野健二郎(京阪神ビルディング 会長) 副委員長 沖津 嘉昭(岩井コスモ証券 会長CEO) 副委員長 村林 聡(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 社長) 副委員長 西村 義明(住友理工 会長) 副委員長 廣富 靖以(共英製鋼 社長) 副委員長 常陰 均(三井住友信託銀行 会長) 副委員長 有馬 高司(三井住友銀行 常務執行役員) 副委員長 楠本 真也(紀陽銀行 執行役員大阪支店長) 副委員長 福山 漢成(野村證券 常務大阪駐在兼大阪支店長)☆ 副委員長 村田真由美(永寿福祉会 理事長)
企業法制委員会 コーポレートガバナンスと中長期的な企業価値の向上に資する適正な企業法制(会計基準も含む)の検討・提言および普及啓発	委員長 角元 敬治(三井住友銀行 取締役兼専務執行役員)☆ 副委員長 佐藤 義雄(住友生命保険 会長) 副委員長 串田 守可(栗本鐵工所 社長) 副委員長 廣地 厚(ゲンゼ 社長) 副委員長 成松 郁廣(川崎重工業 常務執行役員) 副委員長 飯村 北(西村あさひ法律事務所 パートナー) 副委員長 大澤 晶子(日本生命保険 執行役員) 副委員長 米田 隆(TMI総合法律事務所 パートナー) 副委員長 井村 守宏(イムラ封筒 会長)

委員会とその所管事項	委員長・担当委員長・専門委員長・副委員長(万博特別委員会については委員)	
地方分権・広域行政委員会 地方分権・分権型道州制や地方創生の実現に向けた調査・提言、関西広域連合の発展支援と関西広域連携の推進	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	銭高向原小坂亀本山本加藤常陰一善（銭高組 会長） 潔（三井住友トラスト基礎研究所 アドバイザー） 肇（りそな銀行 副社長） 茂（カネカ 特別顧問） 良一（J. フロントリテイリング 社長） 好文（京阪ホールディングス 社長） 均（三井住友信託銀行 会長）☆
科学技術・産業振興委員会 〔健康・医療専門委員会〕 関西に強みがある健康・医療、航空機、環境・エネルギー、IoT・AI／ロボット等の次世代成長産業振興につながる分野のクラスター形成、科学技術・産業政策、人材育成など、Society5.0の実現に向けた産業イノベーションに関する総合的な推進	委員長 健康・医療専門委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	牧村清水松本池田生駒鈴木手代木宮崎川邊土井五十川宮部浅見山本長谷川賀須井三井樋口実（川崎重工業 顧問） 良（田辺三菱製薬 執行役員）☆ 恵司（ハウス食品グループ本社 代表取締役専務） 全徳（日本触媒 相談役） 昌夫（さんでん 会長） 博之（丸一銅管 会長兼CEO） 功（塩野義製薬 社長） 智史（みずほ銀行 副頭取） 辰也（関西電気保安協会 理事長） 義宏（関西電力 副社長） 龍之（新明和工業 社長） 義幸（パナソニック 専務執行役員） 徹（国際電気通信基礎技術研究所 社長） 靖則（島津製作所 常務執行役員） 雅彦（日立製作所 関西支社長執行役員） 良有（住友電気工業 専務取締役） 正則（ダイハツ工業 会長） 敦子（大日本住友製薬 執行役員）☆
ベンチャー・エコシステム委員会 うめきたやけいはんな等の拠点連携、大企業とベンチャーとの協業、ベンチャーを生み出す行政と経済界が一体となった体制整備等による関西におけるベンチャー・エコシステムの形成	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	澤田山本諸富稲塚古田阿南細見高橋田中拓子（塩野義製薬 副社長）☆ 誠（大和ハウス工業 取締役常務執行役員）☆ 隆一（阪急阪神不動産 副社長）☆ 徹（ダイキン工業 常務専任役員）☆ 克哉（三菱電機 執行役員関西支社長）☆ 雅哉（京都銀行 専務取締役）☆ 恭樹（池田泉州銀行 取締役常務執行役員）☆ 豊典（オリックス グループ執行役員グループ関西代表）☆ 昭二（デロイトトーマツ コンサルティング 大阪オフィス統括執行役員）☆
地球環境・エネルギー委員会 経済成長の根幹を担う電力の低廉かつ安定的な供給と、3Eのバランスの取れたエネルギー政策、経済と両立する環境政策の推進に関する意見発信および具体的アクションの実施	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	古川北川稲垣生駒中谷池田実（日立造船 相談役） 勇（椿本チエイン 会長兼CEO） 慎介（三井物産 専務執行役員関西支社長） 史則（島津製作所 常務執行役員） 昌夫（さんでん 会長）☆ 浩（川崎重工工業 常務執行役員技術開発本部長）☆ 雅信（エコトラック 社長）
国土・広域基盤委員会 〔リニア・北陸新幹線専門委員会〕 複眼型の国土形成、広域交通・物流基盤の整備・強化（リニア中央新幹線・北陸新幹線、高速道路、関西国際空港、阪神港等）、首都中枢機能バックアップへの取り組みや地域・企業の危機対応力向上	委員長 リニア・北陸新幹線専門委員長 関空担当委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	村尾藤原山中向原幸山谷酒井松井和俊（西日本電信電話 相談役） 崇起（阪神電気鉄道 会長） 諄（南海電気鉄道 取締役相談役） 潔（三井住友トラスト基礎研究所 アドバイザー） 和範（阪神高速道路 社長） 佳之（関西エアポート 社長） 和広（西日本高速道路 社長） 毅（大阪ガス 副社長）☆
都市・観光・文化委員会 〔都市創造専門委員会〕 関西の強みを官民一体で発信するための「KANSAIブランド」展開やインバウンド促進、夢洲等の開発プロジェクトやエリアマネジメントなど魅力ある都心づくり	委員長 都市創造専門委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	角香川鳥井小嶋福島坂上八木難波田中野新居宇田川長谷川白川武内高橋掛布山本北垣吉田元角三田和夫（阪急電鉄 会長） 次朗（開電不動産開発 会長） 信吾（サントリーホールディングス 副会長） 淳司（がんこフードサービス 会長） 伸一（大阪国際会議場 社長） 和典（博報堂 特任顧問） 隆史（電通 執行役員関西支社長） 正人（竹中工務店 副社長） 宏幸（吉本興業 副社長） 星子（日本航空 執行役員西日本地区支配人） 勇士（全日本空輸 上席執行役員関西支社長） 雄彦（JTＢ 常務執行役員関西広域代表） 一明（西日本旅客鉄道 副社長兼執行役員創造本部長） 正彰（近鉄グループホールディングス 取締役常務執行役員） 紀子（コングレ 社長） 豊典（オリックス グループ執行役員グループ関西代表） 勇（大林組 副社長大阪本店長）☆ 誠（大和ハウス工業 取締役常務執行役員）☆ 真紀（ロイヤルホテル 執行役員）☆ 真也（三菱商事 常務執行役員関西支社長）☆ 敬治（三井住友銀行 取締役兼専務執行役員）☆ 周作（近畿日本ツーリスト関西 社長）☆

委員会とその所管事項	委員長・担当委員長・専門委員長・副委員長(万博特別委員会については委員)	
スポーツ振興委員会 関西のスポーツ振興および関連産業活性化に向けた戦略や産学官連携のあり方の検討、2019～2021年のゴールデン・スポーツイヤーズの盛り上げに向けたPR強化やレガシー創出への支援	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	佐藤 廣士(神戸製鋼所 顧問) ジュネジャ レカ(ロート製薬 副社長) 野崎 治子(堀場製作所 理事) 後藤 政郎(双日 常務執行役員関西支社長) 賀須井良有(住友電気工業 専務取締役) 清水 博(日本政策投資銀行 常務執行役員関西支店長) 前田 真一(電通 執行役員) 岩井 良行(パナソニック 執行役員)☆ 江口あつみ(江崎グリコ 執行役員)☆ 福本ともみ(サントリーホールディングス 執行役員)☆ 松岡 弘明(日本製鉄 常務執行役員大阪支社長)☆ 松井 毅(大阪ガス 副社長)☆
国際委員会 [アジアビジネス専門委員会] アジアなど有望市場へのビジネス展開支援、グローバル人材育成支援、海外使節団・調査団の派遣、外国要人の受け入れ、経済連携推進など通商政策に関する調査研究・提言	委員長 交流担当委員長 交流担当委員長 交流担当委員長 アジアビジネス専門委員長 アジアビジネス専門委員長代行 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	松下 正幸(パナソニック 副会長) 田嶋 英雄(コニカミノルタ 名誉顧問) 大林 剛郎(大林組 会長) 竹中 統一(竹中工務店 取締役名誉会長) 田中 恵次(住友商事 常務執行役員国内担当役員関西支社長)☆ 米川 孝(損害保険ジャパン日本興亜 専務執行役員関西第一本部長) 植松 弘成(ダイキン工業 監査役) 柳田 耕治(梓設計 常務取締役執行役員) 池田 誠(日本通運 専務執行役員関西ブロック地域総括兼大阪支店長) 北川 慎介(三井物産 専務執行役員関西支社長) 後藤 政郎(双日 常務執行役員関西支社長) 富田 稔(丸紅 執行役員大阪支社長) 森 光廣(共英製鋼 取締役相談役) 吉田 真也(三菱商事 常務執行役員関西支社長) 牛田 晋(国際協力銀行 執行役員西日本総代表) 的場 佳子(伊藤忠商事 執行役員)☆ 井上 剛(第一稀元素化学工業 社長) 奥田 智(をくだ屋技研 社長)
労働政策委員会 雇用・労働政策、労働法制に関する総合的な検討、中小企業が有する人事・労務課題の整理と解決支援	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	賀須井良有(住友電気工業 専務取締役)☆ 小野 幸親(相互タクシー 社長) 前田 盛明(レンゴー 副社長) 古谷 裕子(北港運輸 社長) 白井 正勝(東洋紡 執行役員) 太田めぐみ(アシックス 執行役員CSR統括部長) 久保 俊裕(クボタ 顧問)☆ 亀岡 恒方(高島屋 常務取締役)☆ 松岡 弘明(日本製鉄 常務執行役員大阪支社長)☆ 鎌屋 樹二(日立造船 常務取締役企画管理本部長)☆ 島岡 秀和(丸島アクアシステム 社長)
グローバル人材育成・活用委員会 グローバル人材の育成・活用に関する総合的な検討・提言および実践活動の推進	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	小川 克己(淀川ヒューテック 社長) 久保 俊裕(クボタ 顧問) 森島 朋三(立命館 理事長) 倉橋 孝壽(近鉄グループホールディングス 取締役専務執行役員) 稲付 嘉明(カワソーテックス 社長)
震災復興支援担当 東日本大震災からの復興に向けた情報発信、他の経済団体等と連携した復興支援	ー ー	坂上 和典(博報堂 特任顧問) 角元 敬治(三井住友銀行 取締役兼専務執行役員)☆
万博特別委員会 2025年日本国際博覧会協会との連携／大阪・関西万博に関する情報の各委員会への展開、関経連の各事業(各委員会)を通じて万博に貢献することに関する分野横断の横串、万博がめざすテーマであるSDGs達成に向けた取り組みの推進	委員長 委員	松本 正義(関西経済連合会 会長)☆ 副会長および万博に係る下記委員会の委員長☆ 科学技術・産業振興委員会 国土・広域基盤委員会 都市・観光・文化委員会 スポーツ振興委員会 国際委員会